

リハビリ相談の実際

いろいろな職種のかたが、「リハビリが役立つかな、どうかな」と思ったとき、主治医の先生にご相談し、リハビリ相談に進む流れを示しました。以前の事業を聞いたことがある方には「テレビ電話相談」という患者さんが行かないで済むやり方が増えたとお伝えたいです。はじめてご覧になる方は、全体をご覧になって、使ってみたい患者さん利用者さんがいらしたらお気軽に活用下さい。ご不明な点はお問い合わせ下さい。

(久居一志地区医師会、平成30年度の在宅医療体制整備推進事業)

現場: ケアマネージャー、ヘルパー、訪問看護が相談したい

主治医にひとこと入れた上で、七栗地域連携室に電話連絡
伝えかたとして

- ・直接声かけ
- ・ケアマネ: 医療連携介護シートの活用
- ・訪問看護: 指示への報告のなかで相談
- ・ヘルパー: 情報提供の一環として

主治医

了解の返事

ケアマネージャー

リハビリ相談
して、と依頼

主治医が相談希望

直接紹介状(病歴)
簡単でok)
本人受診

報告書
リハビリ的診断と
助言内容を戻す



テレビ
電話相談

時間調整して、
テレビ電話を
繋ぐ等設定

七栗地域連携室
(下村、西村)

七栗リハ医師or療法士

七栗リハビリ科外来

本人を診察し、助言・指導

相談例

- ・乗り移りの介助のしかたの工夫
- ・弱るのを防ぐやりかた | 自宅での運動法
- ・集中リハビリは効果がありそうか

費用

- ・テレビ電話相談までは無料。
- ・外来受診は医療保険に従い、有料。

問合せ: 藤田医科大学七栗記念病院
地域連携室 059-252-1555 (病院代表)